

9月10日は下水道の日 下水道に接続しましょうっ

平成29年度末の下水道の計画区域内人口に占める整備完了人口(処理区域人口)は97.4%、7,318人が接続できるようになっていますが、接続されている方はその中の67.4%、4,930人と低い状況となっています。下水道整備区域にお住まいの方は、出来るだけ早く下水道に接続していただき、河川の水質と生活環境の改善にご協力をお願いします。

下水道に接続すれば、浄化槽が不要となり、管理の手間が省け、プロアなどの機械もないので故障しません。高齢化社会に向けたよりシンプルな方式といえます。

また、管理コストも浄化槽52,000円/年に対し、下水道使用料は15,552円/年(平均月20m³です。平均の倍、月40m³使っても37,584円/年)と安くなります。

お願い
既に下水道に接続している方は、
雨水の誤接続がないか点検してください

中井町の下水道は分流式といい、汚水だけを処理する仕組みです。これに間違えて、雨水の排水が接続されると雨の日の下水量が急激に増えてしまい、処理場での処理が困難になります。酒匂川の左岸処理場では、雨天時の流入量が晴天時の最大4.1倍にもなっていてギリギリの状態です。

中井町でも雨が降るほど下水水量が増えていることが流量計のデータから明らかで、その量は年間約140,000m³、全下水量の12%を占めています。

雨どいからの水が下水管に流れ込んでいないか、露天の外水道の排水が下水に接続されていないかなど、今一度確認していただき、もし接続してしまっている場合は、必ず切り離してください。特に昨今の局地的大雨のためか、雨水の侵入量は年々増えてきています。

140,000m³ってどの位?

- お風呂一杯は 0.2m³ **なので 70万** 杯分
- 一般家庭一戸の年間水道使用量は約240m³ **なので 580** 戸分
- 25Mプール一杯は 500m³ **なので 280** 杯分

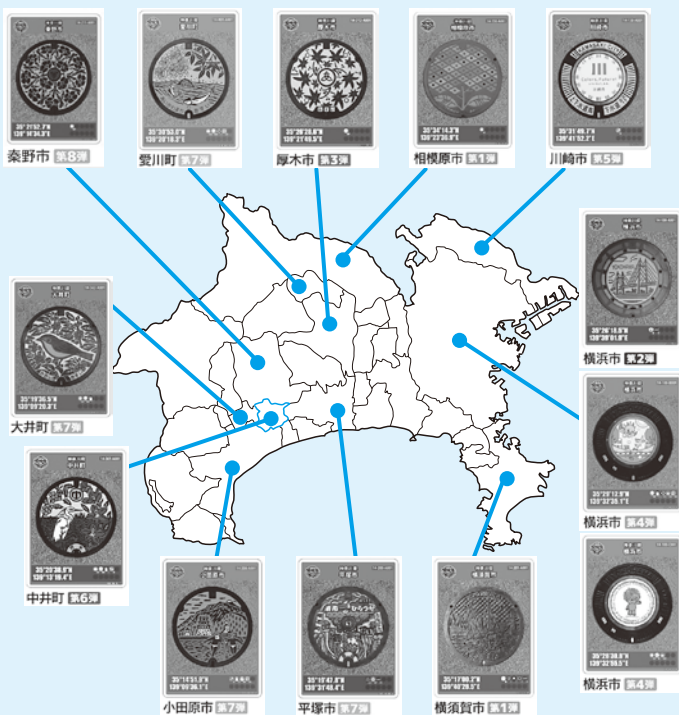
マンホールカード増殖中

昨年12月第6弾で発行した中井町のマンホールカードは7月中旬で2,000枚(1ロット)を配り、2ロット目を配布中です。

遠くは北海道や長崎県から、人数は県内が一番多いですが、続いて東京都、埼玉県、静岡県と多く来ています。

隣接した小田原市、大井町、平塚市が4月に第7弾で発行し、秦野市が8月に第8弾で発行しました。

神奈川県内の発行はこれで13種11自治体となります。



問合せ

環境上下水道課 ☎(81)3903